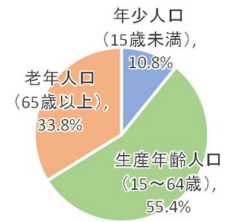


IV

たかおか 高岡小学校区

たくち いたさか さくら ながの
田口、板坂、桜、長野

世帯数	479 世帯	年齢別人口	15歳未満 (年少人口)	15~64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)
人口	1,094 人		303 人	1,548 人	945 人



自然

- 北部には七種山 (標高 683m) と、遠くから見ると槍の穂先のように尖った形をしている七種槍 (標高 577 m)、山頂にお薬師様が祀られている薬師峯 (標高 616m) の七種三山がそびえ、地域の多くを山林が占めています。
- 七種山の山中には、七種の滝、笠岩やつなぎ岩などの奇岩があり、関西百名山やふるさと兵庫 100 山などに選ばれています。
- 七種山を源とする七種川とその支川の谷底低地に農地が広がり、集落が形成されています。

歴史文化

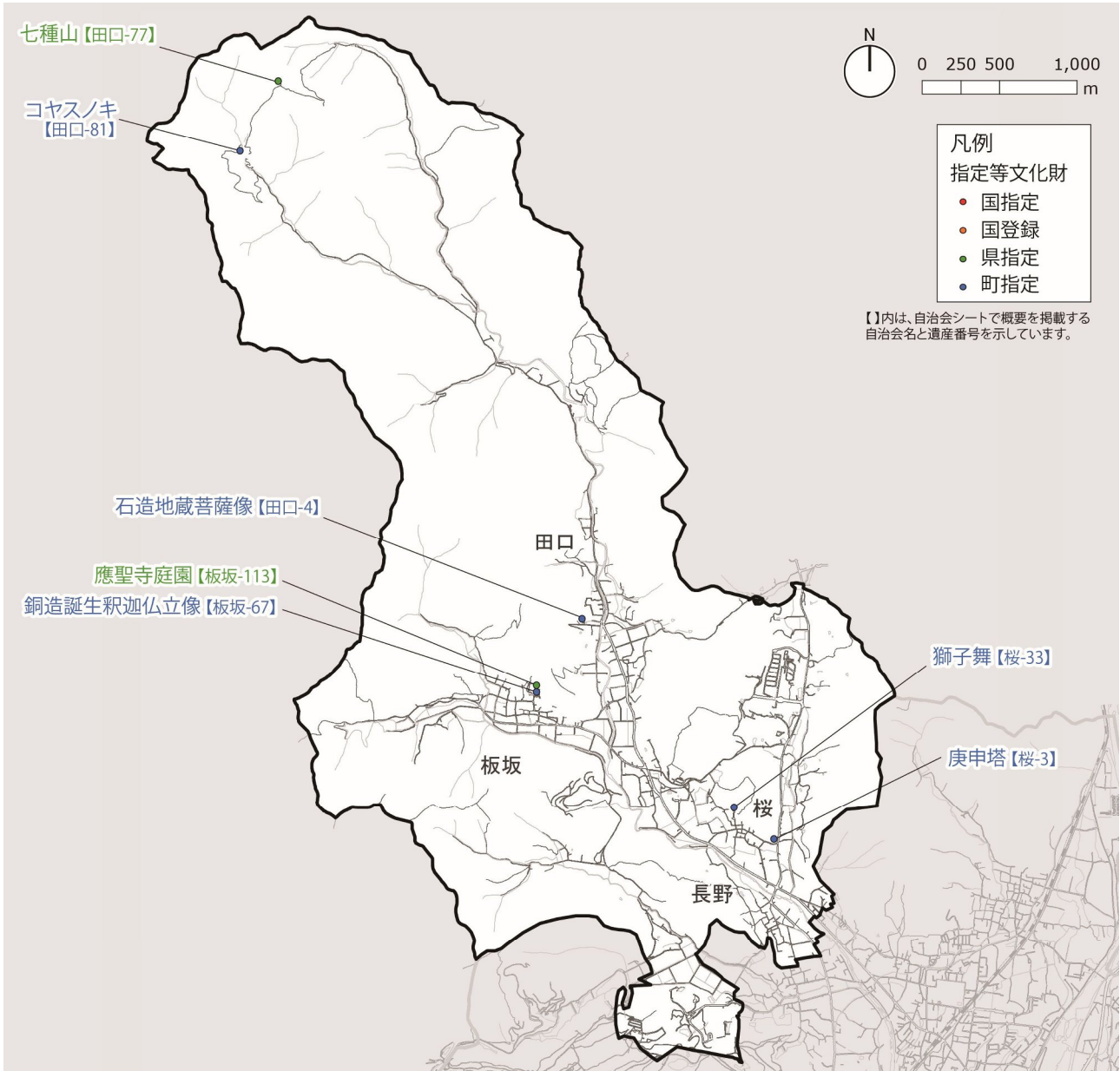
- 北部の七種山は、『播磨国風土記』に「奈具佐山」として、その名が見られます。七種山には、近世まで、金剛城寺の前身である作門寺があり、仏堂や観音堂、鎮守堂、阿弥陀堂、庫裏などがありました。明治初期の廃仏毀釈の中で寺領が没収されて伽藍が壊されるおそれがあったため、堂や庫裏が田口村中へと移築されました。現在も七種山山中には山門が残り、往時の面影を伝えています。
- 法道仙人開基の伝承をもつ應聖寺には、白鳳時代 (7世紀後半) 制作の銅造誕生釈迦仏立像が伝わっています。また、中世には赤松氏の祈願所として発展し、近世には、姫路城主と関係が深く、特別な寺格を持つ寺院として栄えたとき、姫路城主歴代御位牌や三代将軍家光公の御位牌なども伝わっています。
- 板坂から田口を東西に横断する西国三十三所巡礼道 (二十七番札所書山園教寺から二十八番札所成相山成相寺へと続く道) は、江戸時代を中心に多くの巡礼者が往来しました。
- 第二次大戦中には、戦局の悪化に伴い、「高橋の弾薬庫」(高橋区) に保管されていた大量の爆薬の疎開のために、桜区などに多くの弾薬塚が造られ、そのいくつかは現在も確認できます。
- 秋祭りでは、福崎・高岡の屋台 13 台が二之宮神社 (山崎区) に集まります。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13 台サラバ練り」は見どころとなっています。
- 一之宮神社にて應聖寺住職ほか近隣の天台宗僧侶が般若経を転読奉納する一之宮神社般若経転読会は、神前での読経という神仏習合の古例を約 300 年間継承しており、地域を代表する伝統行事になっています。

指定等文化財の件数

分類	国				県		町	総数
	指定	選定	登録	選択	指定	登録	指定	
建造物	0	0	0	0	0	0	0	0
美術工芸品	0	0	0	0	0	0	2	2
無形文化財	0	0	0	0	0	0	0	0
有形の民俗文化財	0	0	0	0	0	0	1	1
無形の民俗文化財	0	0	0	0	0	0	1	1
遺跡 (史跡)	0	0	0	0	0	0	0	0
名勝地 (名勝)	0	0	0	0	2	0	0	2
動物・植物・地質鉱物 (天然記念物)	0	0	0	0	0	0	1	1
文化的景観	0	0	0	0	0	0	0	0
伝統的建造物群	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	0	0	2	0	5	7

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、いずれも住民基本台帳による(外国人を除く)。

指定等文化財の分布



小学校の変遷

明治 5年	田口・板坂2か村で日進小学校、桜・長野・神谷の3か村で弘明小学校を設立
8年	弘明小学校を日進小学校に合併、神谷は練習小学校（福田村字東田黒）へ通学
15年	校舎を現在地に移転し、七種小学校に改称（初等科・中等科を設置）
18年	中等科を廃止し、練習小学校七種分校となる
20年	七種簡易小学校に改称
25年	高岡尋常小学校に改称
昭和 16年4月	高岡国民学校に改称
22年4月	高岡小学校に改称
31年5月	町村合併により、福崎町立高岡小学校となる

高岡小学校 校歌

作詞：今井広史、作曲：西崎嘉太郎

校歌

1 朝日に映える 七種山 山のこだまが 呼びかわす からだを 鍛え ころを 磨け 知恵も若木も すこやかに ああ 伸びていく 高岡の ぼくも わたしも 杉の子だ	2 入り日に光る 七種川 川の瀬音が 呼びかわす たゆまず 進め 大地を くぐり めざす行手は 遠くても ああ 手をつなぐ 高岡の ぼくも わたしも 杉の子だ	3 七種の滝は 七色の 希望の虹を かけわたす かがやく ひとみ たかなる 血しお やがて未来の 大空へ ああ 胸を張る 高岡の ぼくも わたしも 杉の子だ
---	--	---